

農家所得の向上は？

町長

一次加工品にも力を入れる

【町長】加工所の安定生産のため町内産の肉を主体にした加工品の商品化に取り組んでいる。今後、学校・保育所・福祉施設などの給食には生鮮野菜だけでなく、一次加工品の供給にも

利用されていない。現在の方法よりも、野菜・果実の規格外農産物を加工するほうが農家の所得向上に寄与し、町民の税金を有効に使うことになるのではないか。

【町長】地元出身のシェフがどのようなものを料理に使うのか楽しみにしている。また商品として発信できる形になってほしい。

【諸遊】夕陽の丘神田のオープンングセレモニーに本町出身のシェフを招くとのこと。加工所の商品開発のために協力を願ったほうが町民のためになるのでは。

【諸遊】平成22年に農産物処理加工施設が稼働した。肉製品中心の施設であり、町特産の野菜・果実がほとんど



諸遊 壤司 議員



手づくり工房 大山恵みの里

教育行政の今後は？

教育
委員長

基本を大切に環境を整える



吉原 美智恵 議員

【吉原】国の教育再生会議で、道徳の教科化・いじめ問題・部活指導のガイドラインの策定などが首相に提言された。教育は転機を迎えたと言えるが、どのように対応していくのか。保・小・中の連携を推進し成果も上がっていると思われるが、これからの課題は。

保・小・中連携の課題は、めざす子ども像を先生が共有し、明確にしていくことである。【吉原】子どもをとり巻くメディアの問題が深刻となっている。保護者へのさらなる啓発が必要ではないか。いじめに対する第三者機関を立ち上げてはどうか。【教育委員長】メディアの問題は、工夫しながら考えていく。いじめ問題は、国に対応しながら努力していく。



保育所・小学校・中学校の連携を